

# 平成30年度

## 第1回草津市立認定こども園園名等選定委員会 会議録

### ■日時：

平成30年5月28日（月）10時00分～11時30分

### ■場所：

草津市役所 5階 502会議室

### ■出席委員：

青木委員、卯田委員、瀬川委員、高内委員、手島委員、中村（愛）委員、中村（真）委員、野口委員、森委員

### ■欠席委員：

なし

### ■関係人：

志津幼稚園 北島園長  
山田幼稚園 東郷園長

### ■事務局：

子ども家庭部 田中部長、山本副部長  
子ども子育て推進課 岩城課長、門田係長、山口主事  
幼児課 岸本課長、前田参事

### ■傍聴者：

0名

## 1. 開会

---

### 【田中部長】

本日は大変蒸し暑い中、第1回草津市立認定こども園園名等選定委員会に御出席を賜り、誠にありがとうございます。また、日ごろから、本市の児童福祉をはじめとして、市の行事等に御協力をいただいておりますことを、この場をおかりして、厚くお礼申し上げます。

また、このたびは御多用のところ、草津市立認定こども園園名等選定委員会の委員に御就任をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、本市では、平成27年3月に策定した草津市幼保一体化推進計画に基づいて、就学前教育・保育の質の向上、待機児童の解消、3歳児の幼児教育の推進、また、地域における子育て支援の充実を目的として、公立保育所と公立幼稚園の認定こども園への移行を進めてまいりました。平成28年には、市内で初めてとなる公立の認定こども園として、第五保育所を幼保連携型の矢橋ふたばこども園として、笠縫東幼稚園を幼稚園型の笠縫東こども園として、開園いたしました。また、本年4月には、草津保育

所と中央幼稚園を統合した幼保連携型の認定こども園、草津中央おひさまこども園を開園したところでございます。

さらに、公立の施設である第六保育所と大路幼稚園を統合し、民設民営方式の認定こども園として、たちばな大路こども園も同じく本年4月から開園をされております。

今後、民間の認可保育所につきましても認定こども園化を計画しておられる施設が増えており、この傾向は続くのではないかと予想をしております。

一方、今後の公立施設における認定こども園化については、平成31年の4月に志津幼稚園と山田幼稚園を、平成32年の4月に玉川幼稚園を幼稚園型の認定こども園として開園する予定でございます。今年度の当委員会においては、志津幼稚園と山田幼稚園の園名、園章、園歌について、御審議をいただきたく存じます。新たに展開をいたします認定こども園が地域の皆様からも末永く愛され、親しまれるとともに、子どもたちが心豊かにたくましく成長する場となりますよう、市民の皆様の視点に立った園名、園章、園歌を選定していただきたいと考えておりますので、皆様、委員の皆様には率直な御意見を賜りますようお願い申し上げます、簡単ではございますが、開会に当たっての御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

## 2. 委員紹介

---

各委員、事務局が自己紹介を行った。

## 3. 草津市立認定こども園園名等選定委員会の概要について

---

### 【事務局】

<資料1-1、1-2について説明>

## 4. 委員長、副委員長の選任、職務代理者の指名について

---

委員より事務局提案を求める意見あり。

事務局から青木委員を委員長に、高内委員を副委員長に提案し、一同了承。

青木委員長より森委員を職務代理者に指名された。

## 5. 草津市立認定こども園の園名等の選定について（諮問）

---

田中部長から青木委員長に諮問書が渡された。

## 6. 議事

---

### （1）草津市の幼保一体化（認定こども園）の取組について

#### 【事務局】

<草津市幼保一体化推進計画（概要版）、要覧 について説明>

#### 【関係人】

<参考資料 について説明>

## (2) 草津市立認定こども園の園名募集について

### 【事務局】

<資料2-1、2-2について説明>

### 【委員長】

資料2-1では、何を基準に園名案を選んできたか、これまでの園ではどうだったかというところをまとめていただき、資料2-2では、今回の選定はどうするかについてまとめていただきました。また、事務局からこれまでを参考に2つの案をいただきました。資料2-2の3ページの案1では、「草津市立〇〇こども園」という方法で公募をかけて、この「〇〇」に言葉を入れる方法。案2では「草津市立志津〇〇こども園」あるいは「草津市立志津こども園」も可とするという方法で、この「〇〇」に言葉を入れるかどうかという方法で公募をかけるかという、2つの案をいただきました。

ここで、一人から一言ずつ御意見をいただきたいと思います。

### 【副委員長】

第五保育所するときにはその地域の地名がなく、老上学区でもあるので老上か矢倉か矢橋かということも議論しましたが、今回の場合はその山田幼稚園と志津幼稚園がこども園になるということで、地域名も出ているので、地域性がわかる方がいいとは思っています。

たくさん案を集めるには、案1であればそこに地域名やいろいろな案も出てくると思うので、限ってしまわなくともいいと思うが、地域名はあった方がいいとも思っています。

### 【A委員】

私も山田幼稚園そのものの歴史があるので、「山田」というのは入れて「〇〇こども園」としたいと思っています。

### 【委員長】

案2の方がいいということですね。

### 【A委員】

はい。

### 【B委員】

幼稚園に今通っているお母さん方も志津幼稚園出身の方も、「志津」という言葉がすごく愛着があるので、「志津」が入っている方が親しみやすいかなと思います。

### 【委員長】

案2の方がいいということですね。

### 【B委員】

はい。

### 【C委員】

地域から愛されるということがとても大事なことだと思いますし、見守っていただきたいとも思うので、その地域名が入ったこども園であってほしいと思います。私も案2がよいかなと思います。

### 【D委員】

私も案2がいいと思います。理由は2つありまして、現在、志津幼稚園と山田幼稚園という名前でお馴染みされているということ、また、山田小学校と志津小学校との連携もあるので、それが一番しっくりく

るのではないのでしょうか。

また、今後認定こども園はまた増えていくと思いますので、各地域性が出た方が市民の皆様にもわかりやすいということで案2がいいのではないかと思います。

**【E 委員】**

私も案2がいいと思います。前例があるということもあり、ここで地名がなくなるというのもいかなものかなと思いました。

1つ伺いたいのですが、例えば、北部の方が南部の幼稚園へ行くことも可能ですか。

**【事務局】**

幼稚園は全市一区です。

**【E 委員】**

わかりました。やはり前例がありますので、ここでなくすというのは、違和感があるかと思います。

**【F 委員】**

子どもが長年通いなれた山田幼稚園ですので、「山田」という字がなくなってしまうのは寂しさを感じますので、案2の方がいいです。

**【G 委員】**

私も案2がいいと思います。一番の理由は、地域名をつけなかった場合に使える言葉がそれほどないと思うからです。「ひまわり」とか、「ふたば」とか、「おひさま」とかだんだん言葉がなくなっていくのが1つです。

今までの第一、第二という名前は味気ないけれども、地区の名前が入っていると「あのこども園はあの辺やな」ということがすぐわかりますので、地区名はある方がいいと思います。

**【委員長】**

平成27年度のことを紹介しますと、公立のこども園は災害があったときに最初の避難場所になるという機能もあるので、「志津〇〇こども園」に避難してくださいというアナウンスがあれば、地域の人はあの辺だっていうことがすぐわかるが、ただ「〇〇こども園」とか地名が入らないと、どこかわからなくなってしまふという議論が少しありました。

ほとんどの方が案の2を支持するという意見ですが、その点についていかがでしょうか。何か補足等がございますか。

**【事務局】**

委員長から、第一次の避難所ということがありましたが、第一次の避難所は小学校になります。まず小学校へ行っていただいて、その後、例えば、特別に支援をする方等が保育所等に行ってくださいことになっており、皆様がこども園に行かれるということは市としては想定をしておりません。

**【委員長】**

平成30年度の園名募集の考え方について、委員会としての意見をまとめたいと思います。皆様のお話を伺いましたが、案2「草津市立志津〇〇こども園」と「草津市立山田〇〇こども園」で「〇〇」に言葉を入れてもらうということ、また、「〇〇」に言葉を入れない応募も可とするという募集でよろしいでしょうか。

<一同了承>

**【委員長】**

では、案2で決定します。

### (3) 草津市立認定こども園園名募集要項(案)について

#### 【事務局】

<資料3-1、3-2について説明>

#### 【副委員長】

資料3-2の1枚の用紙で志津幼稚園と山田幼稚園を書くようになっていますが、どちらか一方の応募は可能か。

#### 【事務局】

資料3-2の一番上の注意事項にいずれか1園でも構いませんと書いていますが、後ろ2つの資料にはその旨が書けていないので、目立つように記入します。

#### 【G委員】

今までに園名が決まった3つの園がありますが、これを見ると笠縫東こども園だけが何も間に言葉が入っておらず、他の2つの園には地名の後ろに言葉が入っていますよね。資料によると、幼稚園型と幼保連携型で保育時間も対象となる幼児も違う。例えば、地域名だけある「笠縫東こども園」だったら〇〇型である、また、言葉がついているところは〇〇型であるということがわかると、便利だと思うのですがいかがですか。

#### 【委員長】

笠縫東こども園だけが幼稚園型ですね。そして、矢橋ふたばこども園が保育園型で、草津中央おひさまこども園が幼保連携型になります。今回は2園とも幼稚園型になりますので、笠縫東こども園を踏襲して「草津市立志津こども園」、「草津市立山田こども園」とすると同じ幼稚園型はいつでもその幼稚園の名称を継承して、こども園化したということがすぐわかりますね。

#### 【事務局】

今年の委員会の中で、そのような方向性で今後も園名を選定していくということを決めていただけましたら、そのようにしたいと思います。ルール化ができれば、園名に一貫性があり、わかりやすいと思います。

#### 【G委員】

ただ、それが将来変わることはないのかということが疑問です。幼稚園型で出発したが保育園型に変わるとか、そういう可能性はないのか。

#### 【事務局】

保育関連の事業は目まぐるしく変わってきているので、先のことはわかりません。ルールとして決まったが、世の中の情勢が変わり、幼稚園型から移行する動きが出てきたときは、そのときに委員会に委ねてもいいのではないかと思います。

#### 【事務局】

手島委員がおっしゃったことについては、事務局としてもそのように思います。ただ、市長から委員会に諮問させていただいているのが、志津幼稚園と山田幼稚園に限定した、園名、園章、園歌の諮問になっており、将来についてここで決めるということがよいのかという疑問があります。例えば、整合性の観点から、幼稚園型の認定こども園を開園する場合は、現在の幼稚園の名前を活かすことを希望するという委員会としての決定事項としてしまうのではなくて、付帯議案のようにつけていただくという方

法もあります。応募の状況等も勘案した中で、再度、御議論いただければよいと思います。

**【委員長】**

了解しました。

それでは草津市立認定こども園園名募集要項について、委員会としての意見をまとめます。

もともとの事務局案について、1つの園名のみのお応募もできる旨を加筆していただくということでしょうか。

<一同異議なし>

**【委員長】**

それでは、募集要項についての議事を終了します。

それでは、事務局で必要な修正点を整理し、募集要項に反映していただくということになります。

全ての議事は終了いたしましたので、事務局へお返しします。

## 7. 閉会

---

**【岩城課長】**

さまざまな御意見ありがとうございました。本日、審議いただきました内容を踏まえ、6月1日から6月22日の期間で園名募集を実施します。市の広報誌やホームページでも案内いたしますので、委員の皆様も広報・周知の御協力をお願いいたします。

今回は7月5日（木曜日）の午前10時から開催をいたします。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中とは存じますが、御出席をいただきますようよろしくお願いいたします。

本日は、長時間にわたり御審議いただき、誠にありがとうございました。